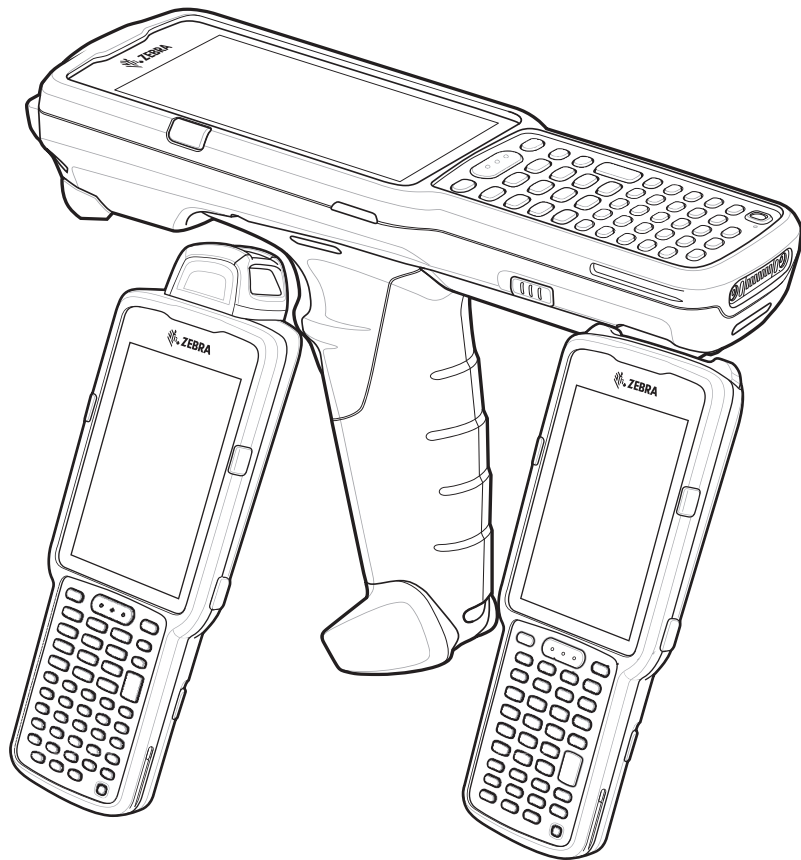


MC3300X

モバイル コンピュータ



クイック スタート ガイド



ZEBRA

著作権

ZEBRA および図案化された Zebra ヘッドは、Zebra Technologies Corporation の商標であり、世界各地の多数の法域で登録されています。Google、Android、Google Play などの商標は、Google LLC の商標です。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。©2020 Zebra Technologies Corporation および/またはその関連会社。無断複写、転載を禁じます。

著作権および商標：著作権と商標情報の詳細については、www.zebra.com/copyright でご確認ください。

保証：保証に関する詳細情報については、www.zebra.com/warranty を参照してください。

エンドユーザー ソフトウェア使用許諾契約：EULA の詳細情報については、www.zebra.com/eula を参照してください。

使用の条件

所有権の表明

本書には、Zebra Technologies Corporation およびその子会社（「Zebra Technologies」）に所有権が属している情報が含まれています。本書は、本書に記載されている機器の操作および保守を行うユーザーに限り、情報の閲覧とその利用を目的として提供するものです。当社に所有権が属している当該情報に関しては、Zebra Technologies の書面による明示的な許可がない限り、他の目的で利用、複製、または第三者へ開示することは認められません。

製品の改善

Zebra Technologies は、会社の方針として、製品の継続的な改善を行っています。すべての仕様や設計は、予告なしに変更される場合があります。

免責条項

Zebra Technologies では、公開されているエンジニアリング仕様およびマニュアルに誤りがないように、万全の対策を講じていますが、まれに誤りが発生することがあります。Zebra Technologies は、かかる誤りを修正する権利を留保し、その誤りに起因する責任は負わないものとします。

責任の限定

業務の逸失利益、業務の中断、業務情報の損失などを含めて、またはこれらに限定することなく、当該製品の使用、使用の結果、またはその使用不能により派生した損害に関しては、いかなる場合でも、Zebra Technologies、または同梱製品（ハードウェアおよびソフトウェアを含む）の開発、製造、または納入に関与したあらゆる当事者は、損害賠償責任を一切負わないものとします。さらにこれらの損害の可能性を事前に指摘されていた場合でも、損害賠償責任を一切負わないものとします。一部の法域では、付随的または派生的損害の除外または制限が認められないため、上記の制限または除外はお客様に適用されないことがあります。

保証

Zebra の完全なハードウェア製品の保証については、Web サイト (www.zebra.com/warranty) にアクセスしてください。

サービスに関する情報

ユニットを使用する前に、ご使用のネットワーク環境で運用するための設定、およびご使用のアプリケーションを実行するための設定を行ってください。

本機器の使用中に問題が発生する場合は、お客様の使用環境を管理する技術サポートまたはシステム サポートにお問い合わせください。本機器に問題がある場合、各地域の技術サポートまたはシステム サポートの担当者が、Zebra グローバル カスタマ サポート (www.zebra.com/support) に問い合わせます。

このガイドの最新版は、www.zebra.com/support から入手可能です。

マニュアルに関するフィードバック

このガイドについてのご意見、ご質問またはご提案がある場合は、EVM-Techdocs@zebra.com まで電子メールにてご連絡ください。

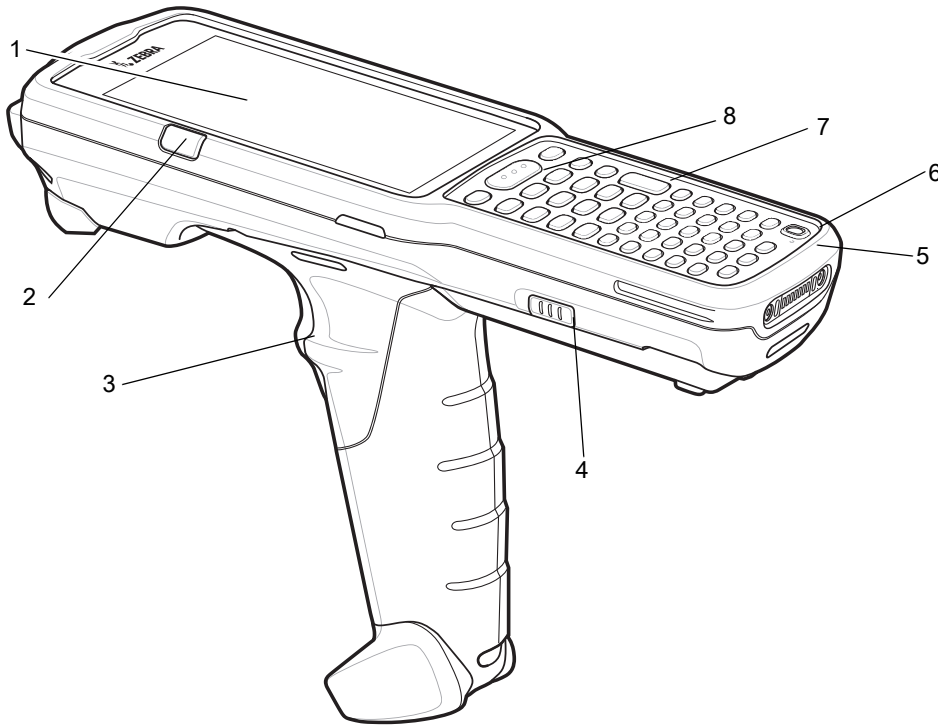
構成

特に記載のない限り、このガイドで使用されている MC3300x は、すべての構成をさします。MC3300x-G はトリガ構成をさします。MC3300x-R は回転構成をさします。MC3300x-S はストレート構成をさします。

MC3300x-G の機能

正面図

図 1 MC3300x-G 正面図



注 MC3300x-G には、ハンドストラップは付属していません。ただし、必要に応じて、スタンドアロン アクセサリ (SG-MC33-HDSTPG-01) として個別に購入できます。

表 1 MC3300x-G の機能 - 正面図

番号	項目	機能
1	ディスプレイ	MC3300x-G の操作に必要なすべての情報が表示されます。
2	充電/アプリケーション通知 LED またはスキャン/ デコード ステータス	充電中のバッテリー充電状態、アプリケーション通知を受信したこと、またはスキャン/デコード状態を示します。
3	トリガ	スキャン アプリケーションが有効な場合、データ読み取りを開始します。
4	バッテリー リリース ラッチ	バッテリーをデバイスから取り出します。
5	マイク	ハンドセット モードでの通信に使用します。

表 1 MC3300x-G の機能 - 正面図 (続き)

番号	項目	機能
6	電源キー	<p>デバイスを一時停止および再開する際に押します。次のオプションがあります。</p> <p>[Power off] (電源オフ) - デバイスの電源をオフにします。</p> <p>[Restart] (再起動) - ソフトウェアが応答を停止した場合に、デバイスを再起動します。</p> <p>[Screenshot] (スクリーンショット) - 現在の画面のスナップショットを取得します。</p>
7	キーパッド	データの入力と画面機能の操作に使用します。
8	スキャン ボタン	スキャン アプリケーションが有効な場合、データ読み取りを開始します。

背面図

図 2 MC3300x-G 背面図

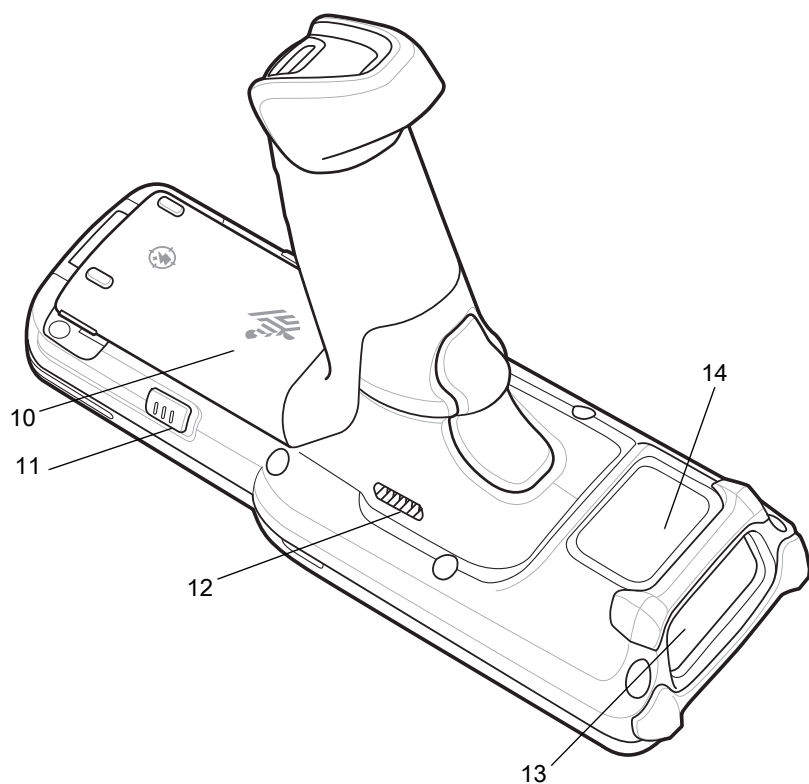


表 2 MC3300x-G の機能 - 背面図

番号	項目	機能
10	バッテリー	デバイスの動作に必要な電力を供給します。
11	バッテリー リリース スラッチ	バッテリーをデバイスから取り出します。
12	スピーカ	ビデオや音楽の再生音を出力します。
13	スキャナ ウィン ドウ	内蔵のスキャナ/イメージャ オプションを使用したデータ読み取りに 使用します。
14	NFC アンテナ	他の NFC 対応デバイスとの通信を提供します。

MC3300x-R の機能

回転式スキャンヘッド

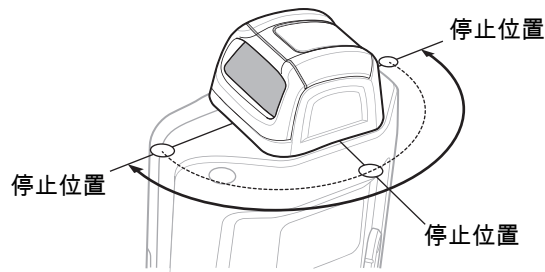
MC3300x-R には、3 箇所まで停止する回転式ヘッドが搭載されています。この機能により、スキャン位置を柔軟に調整できます。



注意

ヘッドは、横の停止位置を越えて無理に回転させないでください。デバイスを損傷する可能性があります。

図 3 MC3300x-R 回転式ヘッド



正面図

図 4 MC3300x-R 正面図

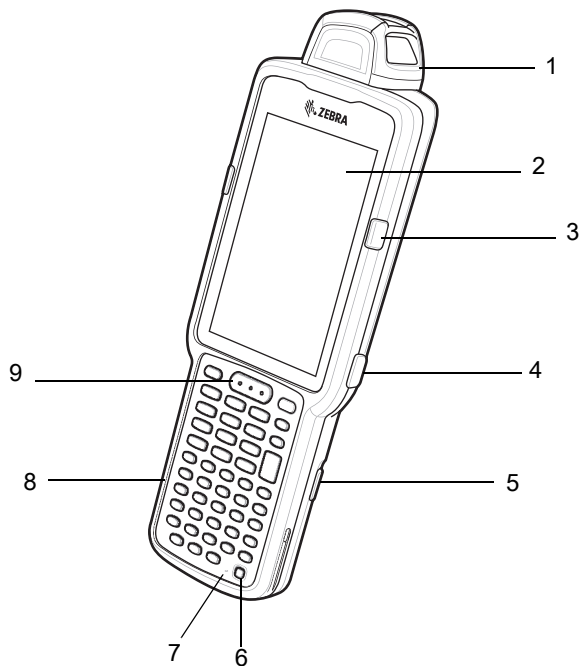


表 3 MC3300x-R の機能 - 正面図

番号	項目	機能
1	回転式ヘッド	スキャンしやすい位置に回転します。
2	ディスプレイ	MC3300x-R の操作に必要なすべての情報が表示されます。
3	充電/アプリケーション通知 LED またはスキャン/ デコード ステータス	充電中のバッテリー充電状態、アプリケーション通知を受信したこと、またはスキャン/デコード状態を示します。
4	側面キー スキャン ボタン	スキャン アプリケーションが有効な場合、データ読み取りを開始します。
5	バッテリー リリース スラッチ	バッテリーをデバイスから取り出します。
6	電源キー	デバイスを一時停止および再開する際に押します。次のオプションがあります。 [Power off] (電源オフ) - デバイスの電源をオフにします。 [Restart] (再起動) - ソフトウェアが応答を停止した場合に、デバイスを再起動します。 [Screenshot] (スクリーンショット) - 現在の画面のスナップショットを取得します。
7	マイク	ハンドセット モードでの通信に使用します。
8	キーパッド	データの入力と画面機能の操作に使用します。
9	スキャン ボタン	スキャン アプリケーションが有効な場合、データ読み取りを開始します。

背面図

図 5 MC3300x-R 背面図

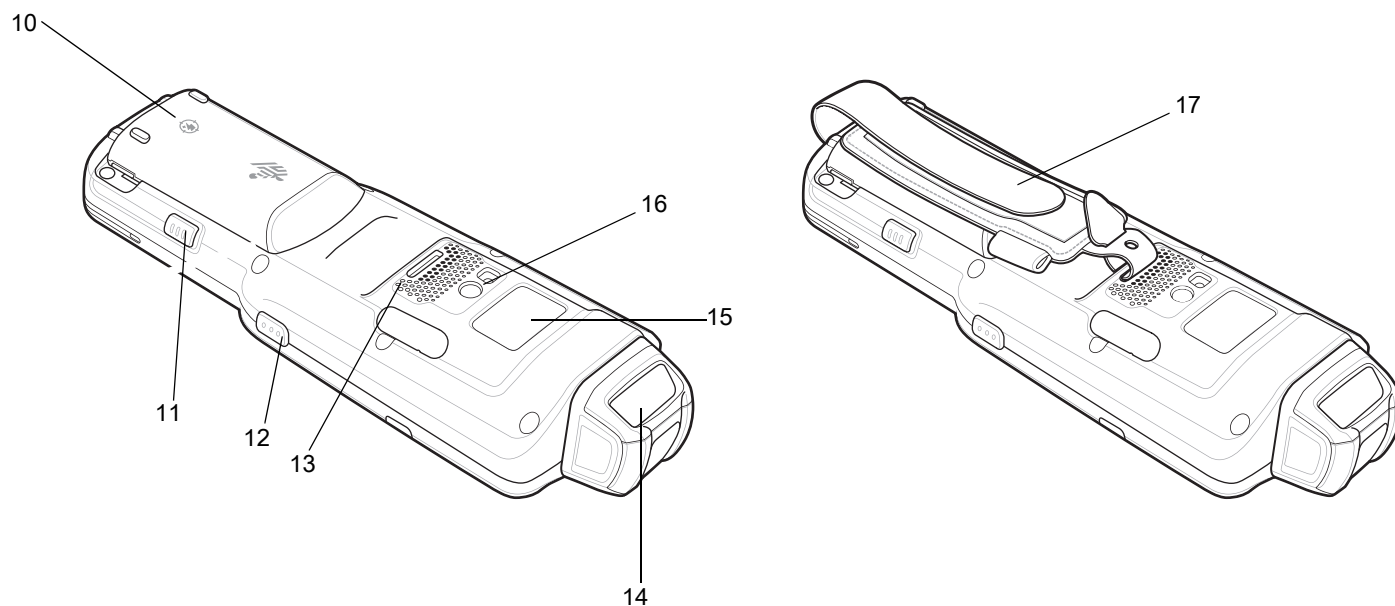


表 4 MC3300x-R の機能 - 背面図

番号	項目	機能
10	バッテリー	デバイスの動作に必要な電力を供給します。
11	バッテリー リリース ラッチ	バッテリーをデバイスから取り出します。
12	側面キー スキャン ボタン	スキャン アプリケーションが有効な場合、データ読み取りを開始します。
13	スピーカ	ビデオや音楽の再生音を出力します。
14	スキャナ ウィン ドウ	スキャナを使用したデータ読み取りに使用します。
15	NFC アンテナ	他の NFC 対応デバイスとの通信を提供します。
16	カメラ/ フラッシュ	LED 照明による画像読み取り機能を提供します。
17	ハンド ストラップ	デバイスを確実に持つために使用します。すべての MC3300x-S および MC3300x-R デバイスにあらかじめ取り付けられています。

MC3300x-S の機能

正面図

図 6 MC3300x-S 正面図

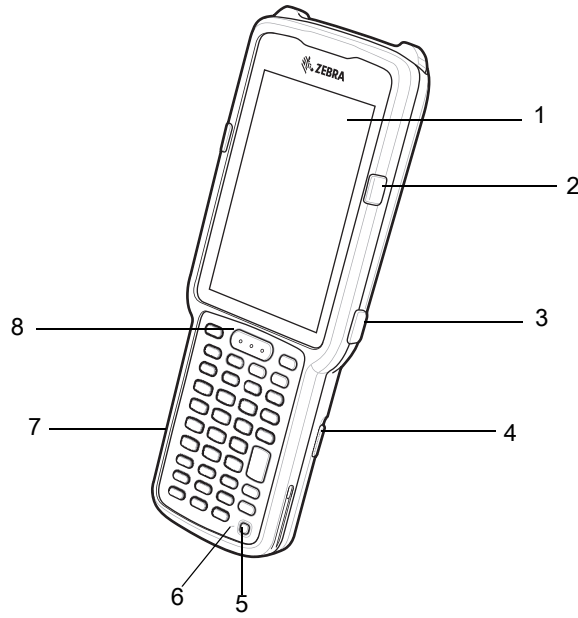


表 5 MC3300x-S の機能 - 正面図

番号	項目	機能
1	ディスプレイ	MC3300x-S の操作に必要なすべての情報が表示されます。
2	充電/アプリケーション通知 LED またはスキャン/ デコード ステータス	充電中のバッテリー充電状態、アプリケーション通知を受信したこと、またはスキャン/デコード状態を示します。
3	側面キー スキャン ボタン	スキャン アプリケーションが有効な場合、データ読み取りを開始します。
4	バッテリー リリース ラッチ	バッテリーをデバイスから取り出します。
5	電源キー	デバイスを一時停止および再開する際に押します。次のオプションがあります。 [Power off] (電源オフ) - デバイスの電源をオフにします。 [Restart] (再起動) - ソフトウェアが応答を停止した場合に、デバイスを再起動します。 [Screenshot] (スクリーンショット) - 現在の画面のスナップショットを取得します。
6	マイク	ハンドセット モードでの通信に使用します。

表 5 MC3300x-S の機能 - 正面図 (続き)

番号	項目	機能
7	キーパッド	データの入力と画面機能の操作に使用します。
8	スキャン ボタン	スキャン アプリケーションが有効な場合、データ読み取りを開始します。

背面図

図 7 MC3300x-S 背面図

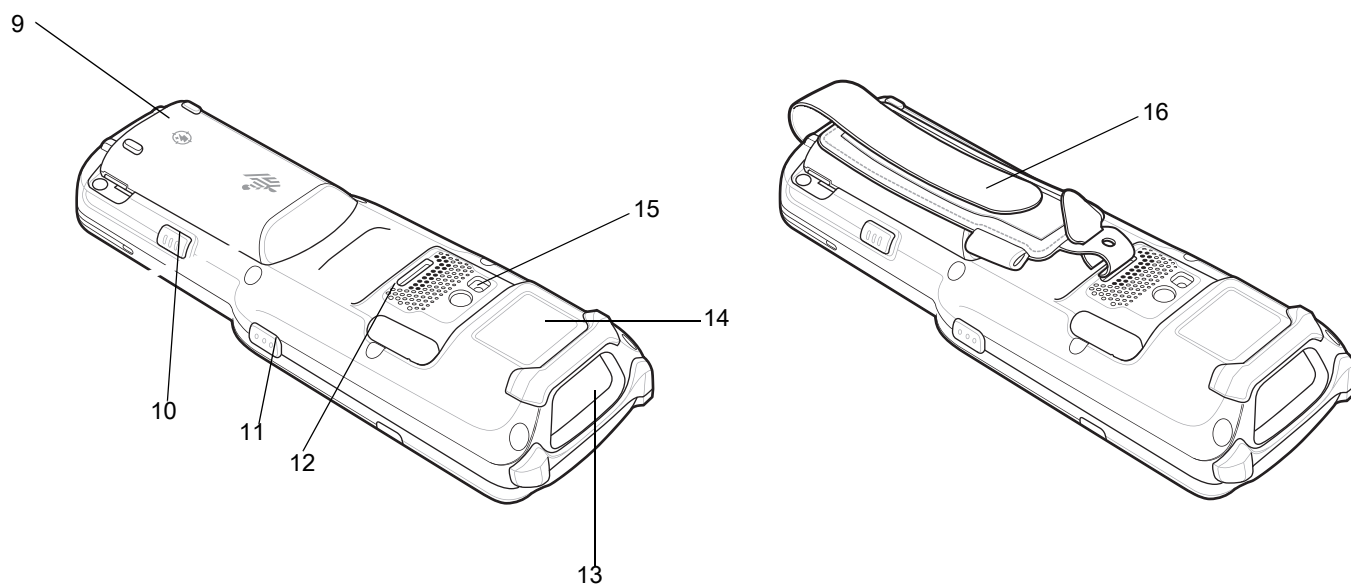


表 6 MC3300x-S の機能 - 背面図

番号	項目	機能
9	バッテリー	デバイスの動作に必要な電力を供給します。
10	バッテリー リリース ラッチ	バッテリーをデバイスから取り出します。
11	側面キー スキャン ボタン	スキャン アプリケーションが有効な場合、データ読み取りを開始します。
12	スピーカ	ビデオや音楽の再生音を出力します。
13	スキャナ ウィンドウ	スキャナを使用したデータ読み取りに使用します。
14	NFC アンテナ	他の NFC 対応デバイスとの通信を提供します。
15	カメラ/ フラッシュ	LED 照明による画像読み取り機能を提供します。
16	ハンド ストラップ	デバイスを確実に持つために使用します。すべての MC3300x-S および MC3300x-R デバイスにあらかじめ取り付けられています。

セットアップ

MC3300x を初めて使用する際には、次のことを行います。

- microSD カードの取り付け (オプション)
- バッテリーの取り付け
- MC3300x の充電
- MC3300x の電源をオンにする

microSD カードの取り付け

microSD カード スロットを不揮発性のセカンダリ ストレージとして使用できます。スロットはバッテリー パックの下にあります。カードに添付されているマニュアルで詳細を確認し、メーカー推奨の使用方法に従ってください。

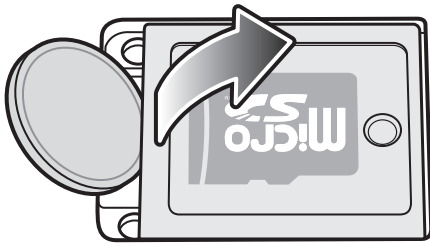


注意

microSD カードを損傷しないように、静電気放電 (ESD) に関する注意事項に従ってください。ESD に関する注意事項には、ESD マット上での作業や、作業する場合の適切な接地などが記載されています。

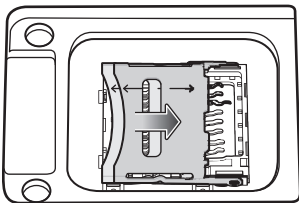
1. コインや指で microSD カード カバーを取り外します。

図 8 microSD カード カバーの取り外し



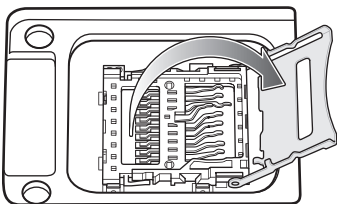
2. microSD カード ホルダーをスライドさせて開きます。

図 9 microSD カード ホルダーのロック解除



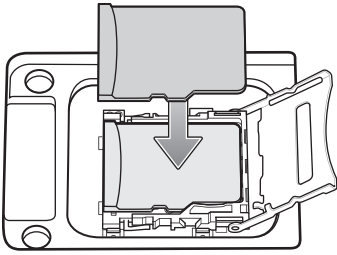
3. microSD カード ホルダーを持ち上げます。

図 10 microSD カード ホルダーの持ち上げ



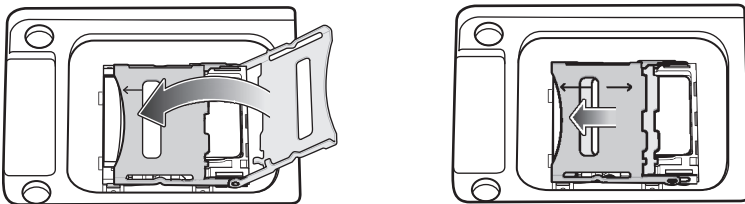
4. 端子が下になるように microSD カードを端子部に置きます。

図 11 microSD カードの取り付け



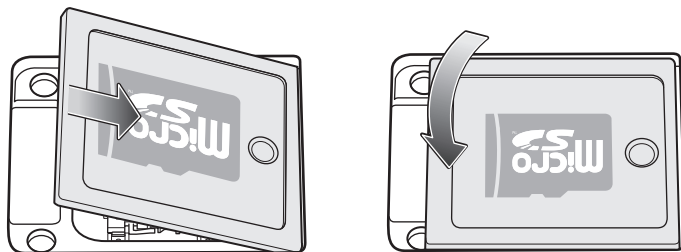
5. microSD カードホルダーを閉じ、microSD カードホルダーを上をスライドさせてロックします。

図 12 microSD カードホルダーのロック



6. microSD カードカバーを再び取り付け、正しく取り付けられていることを確認します。

図 13 カバーの取り付け



MC3300x-G のバッテリーの取付け

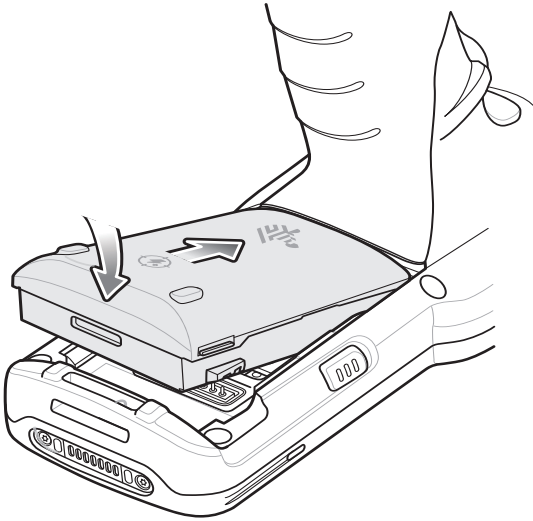
MC3300x-G では、以下のバッテリーと互換性があります。

- MC3300x 7000mAh PowerPrecision+ 拡張バッテリー
- MC33XX 5200mAh PowerPrecision+ 大容量バッテリー

バッテリーを取り付けるには、次の手順に従います。

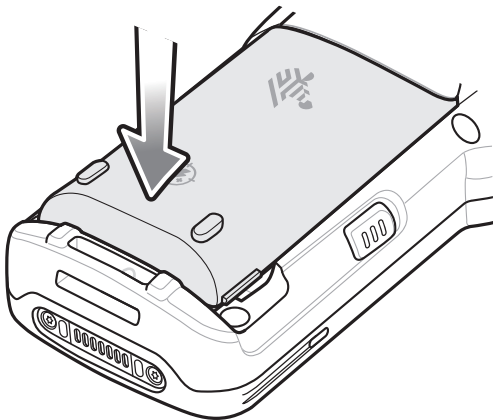
1. ハンドストラップが取り付けられている場合は、緩めます。
2. バッテリーをバッテリー収納部に合わせます。

図 14 バッテリーの取り付け



3. バッテリーの前面を回転させバッテリー収納部にスライドさせます。
4. バッテリーを下方向にしっかり押します。MC3300x-G の両側のバッテリー リリース ボタンがホーム ポジションに戻ったことを確認します。

図 15 バッテリーを下方向に押す



5. ハンドストラップが取り付けられている場合は、締めます。
6. 電源キー (Zebra の起動画面が表示されるまで) を押したままにして、デバイスの電源をオンにします。

MC3300x-R/S のバッテリーの取り付け

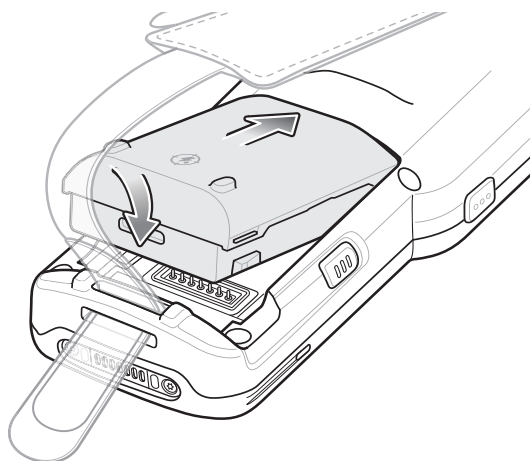
MC3300x-R/S では、次のバッテリーを使用できます。

- MC3300x 7000mAh PowerPrecision+ 拡張バッテリー
- MC33XX 5200mAh PowerPrecision+ 大容量バッテリー
- MC33XX 2740mAh PowerPrecision+ 標準バッテリー

バッテリーを取り付けるには、次の手順に従います。

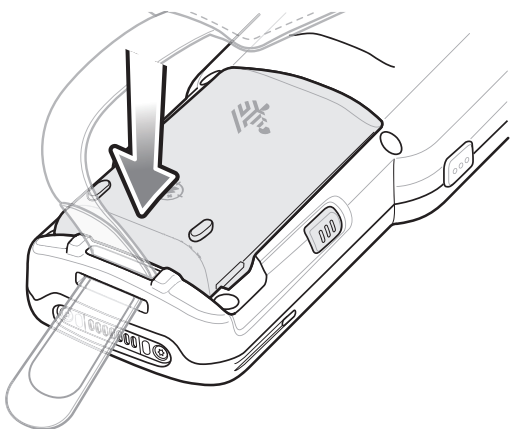
1. 必要に応じて、ハンドストラップを緩めます。
2. バッテリーをバッテリー収納部に合わせます。

図 16 バッテリーの取り付け



3. バッテリーの前面を回転させバッテリー収納部にスライドさせます。
4. バッテリーを下方向にしっかり押し込みます。MC3300x-R/S の両側のバッテリー リリース ボタンがホーム ポジションに戻ったことを確認します。

図 17 バッテリーを下方向に押す



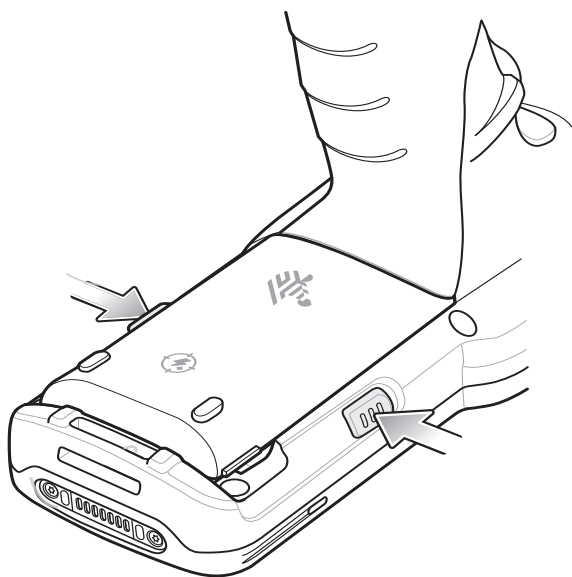
5. 必要に応じて、ハンドストラップを締めます。
6. 電源キー (Zebra の起動画面が表示されるまで) を押したままにして、デバイスの電源をオンにします。

MC3300x-G のバッテリーを交換する

1. 2つのバッテリー リリース ボタンを押し込みます。

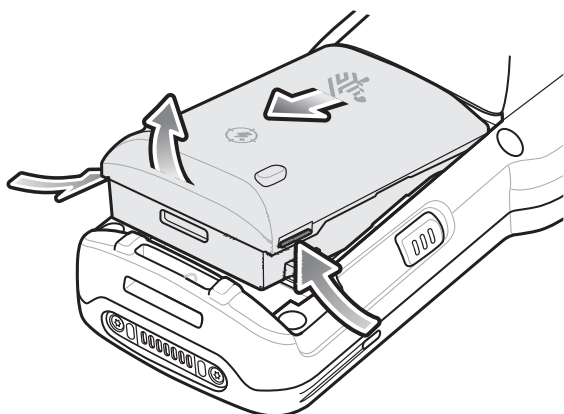
バッテリーが少し外に出ます。ホットスワップモードでは、ユーザーがバッテリーを取り外すと、ディスプレイがオフになり、デバイスは低電力状態になります。MC3300x-G は、30 秒間の無線接続の持続性 (黄色の LED の点滅) をサポートし、その後 RAM データの持続性を約 5 分間維持します。メモリ内容を保持するために、5 分以内にバッテリーを交換してください。

図 18 バッテリーの取り外し



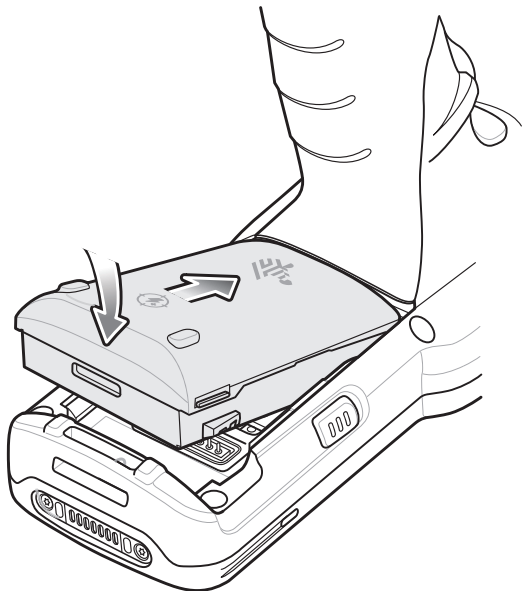
2. バッテリーをバッテリー収納部から取り外します。

図 19 バッテリーの取り外し



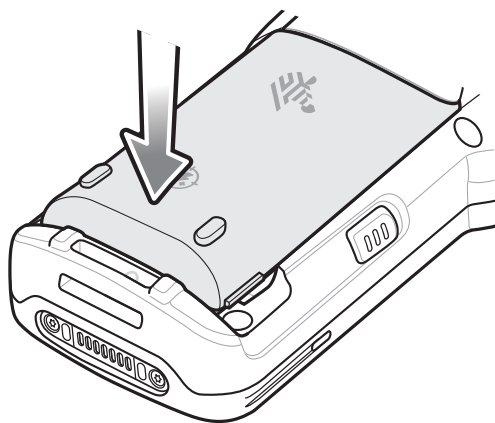
3. バッテリーをバッテリー収納部に合わせます。

図 20 バッテリーの取り付け



4. バッテリーの前面を回転させバッテリー収納部にスライドさせます。
5. バッテリーを下方向にしっかり押します。MC3300x-G の両側のバッテリー リリース ボタンがホーム ポジションに戻ったことを確認します。

図 21 バッテリーを下方向に押す



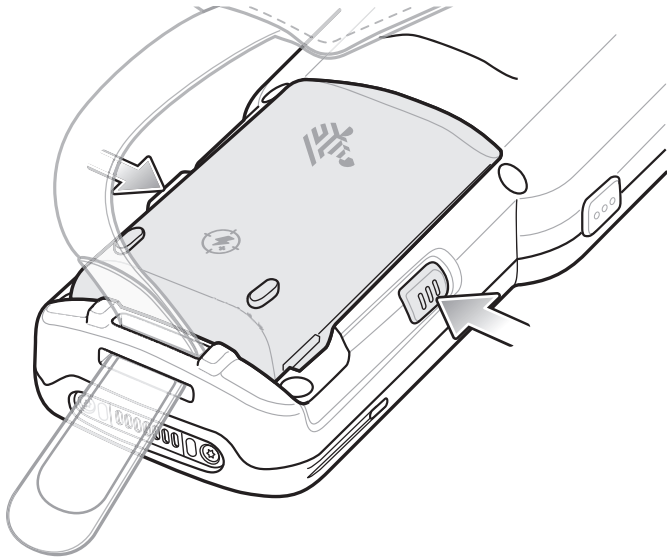
6. バッテリーの取り外しと取り付け (ホット スワップ交換) 後、デバイスは自動的に再開します。電源キーを押す必要があるのは、デバイスの電源がオフになっているかバッテリー パックを使用せずに長時間そのままになっている場合だけです。

MC3300x-R/S のバッテリーを交換する

1. 2つのバッテリー リリース ボタンを押し込みます。

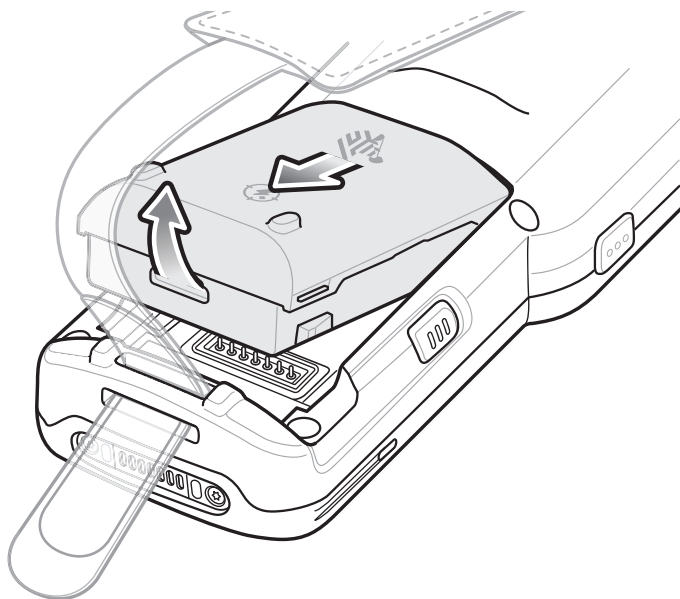
バッテリーが少し外に出ます。ホット スワップ モードでは、ユーザーがバッテリーを取り外すと、ディスプレイがオフになり、デバイスは低電力状態になります。MC3300x-R/S は、30 秒間の無線接続の持続性 (黄色の LED の点滅) をサポートし、その後 RAM データの持続性を約 5 分間維持します。メモリ内容を保持するために、5 分以内にバッテリーを交換してください。

図 22 バッテリーの取り外し



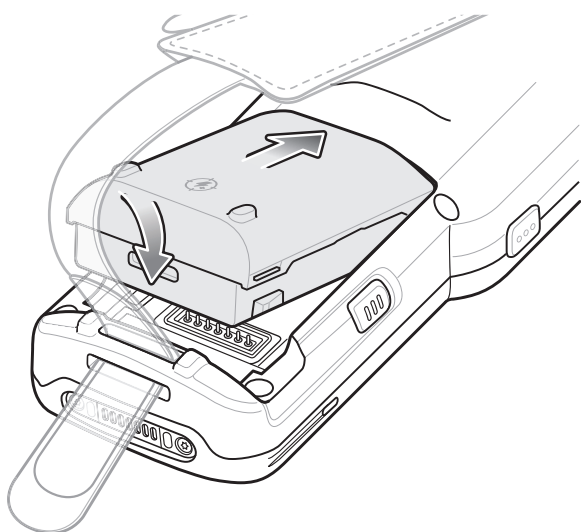
2. バッテリーをバッテリー収納部から取り外します。

図 23 バッテリーの取り外し



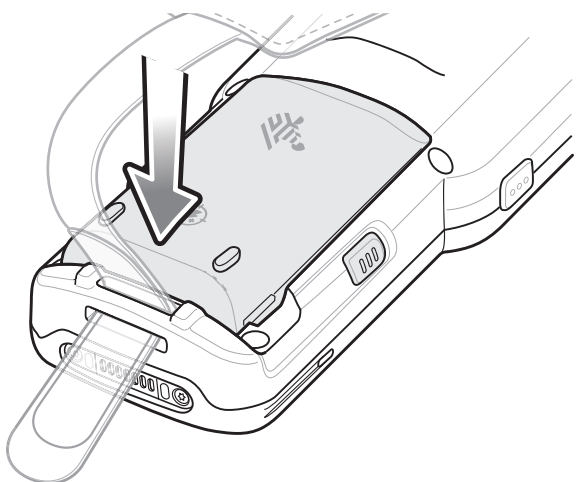
3. バッテリーをバッテリー収納部に合わせます。

図 24 バッテリーの取り付け



4. バッテリーの前面を回転させバッテリー収納部にスライドさせます。
5. バッテリーを下方向にしっかり押します。MC3300x-R/S の両側のバッテリー リリース ボタンがホーム ポジションに戻ったことを確認します。

図 25 バッテリーを下方向に押す



6. バッテリーの取り外しと取り付け (ホット スワップ交換) 後、デバイスは自動的に再開します。電源キーを押す必要があるのは、デバイスの電源がオフになっているかバッテリー パックを使用せずに長時間そのままになっている場合だけです。

互換性

以下の表は、MC3300x、MC33XX、MC3200 モバイル コンピュータとアクセサリとの互換性を示しています。

表 7 互換性

	MC3300x PP+ バッテリー	MC33 シリ ーズ PP+ バッテリー	MC32N0 PP バッテリー	MC33XX クレードル	MC32N0 クレードル	MC33XX バッテリー 充電器	MC32N0 バッテリー 充電器
MC3300x モバイル コンピュータ	○	○	×	○	○ アダプタ あり	N/A	N/A
MC33XX モバイル コンピュータ	×	○	○	○	○ アダプタ あり	N/A	N/A
MC32N0 モバイル コンピュータ	×	×	○	×	○	N/A	N/A
MC3300x PP+ バッテリ	N/A	N/A	N/A	○	×	○	×
MC33 シリ ーズ PP+ バッテリー	N/A	N/A	N/A	○	×	○	×
MC32N0 PP バッテリー	N/A	N/A	N/A	○	○	○	○

- MC3300x モバイル コンピュータは、MC33 PowerPrecision+ バッテリにのみ互換性があります。
- MC33XX モバイル コンピュータは、すべてのバッテリ (MC33XX PowerPrecision+ および MC32N0 PowerPrecision) と互換性があります。
- MC3300x/MC33XX モバイル コンピュータはすべてのクレードルと互換性があります。
MC32N0 端末クレードルを使用するには、追加のアダプタが必要です。これは、充電のみを提供します (通信はサポートされません)。
- MC33XX バッテリ充電器は、すべての (MC3300x/MC33XX PowerPrecision+ および MC32N0 PowerPrecision) バッテリと互換性があります。
- MC32N0 モバイル コンピュータは MC33XX クレードルと互換性がありません。

バッテリーの比較

以下の表は、MC3300x、MC33XX、および MC32XX バッテリーの比較を示しています。

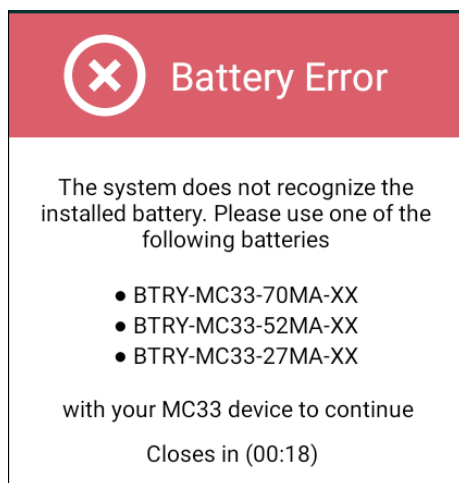
表 8 バッテリーの比較

機能	MC32N0	MC33XX	MC3300x
バッテリーのタイプ	PowerPrecision	PowerPrecision+	PowerPrecision+
Zebra と PowerPrecision+ の型押し風口ゴが含まれています。	×	○	○
バック ラベル	グレー	ブルー	黒

バッテリーの互換性

- MC3300x-G は、7000mAh 拡張容量および 5200mAh 大容量 PowerPrecision+ バッテリーと互換性があります。
- MC3300x-R/S は、7000mAh 拡張容量、5200mAh 大容量、2740mAh 標準容量 PowerPrecision+ バッテリーと互換性があります。
- MC3300x デバイスは、従来の MC32N0 PowerPrecision バッテリーと互換性がありません。

MC3300x デバイスで間違ったバッテリーを使用すると、次のメッセージが繰り返し表示されます。MC33XX と互換性のあるバッテリーを使用していることを確認してください。



注 MC3300x ハンドヘルド デバイスでは、バッテリー通知 (上図を参照) を無効にしたり、抑制したりはできません。MC3300x デバイスには、必ず適切な MC33 PP+ バッテリーを使用してください。

MC3300x の充電

MC3300x や予備バッテリーを充電するには、次のアクセサリのいずれかを使用します。

表 9 充電と通信

説明	部品番号	充電		通信	
		バッテリー (デバイス 内)	予備バッ テリ	USB	Ethernet
1 スロット USB 充電クレードル (予備バッテリー充電器付き)	CRD-MC33-2SUCHG-01	○	○	○	×
5 スロット充電専用 ShareCradle	CRD-MC33-5SCHG-01	○	×	×	×
5 スロット Ethernet ShareCradle	CRD-MC33-5SETH-01	○	×	×	○
5 スロット充電 ShareCradle (4 スロット バッテリー充電器付き)	CRD-MC33-4SC4BC-01	○	○	×	×
5 スロット Ethernet ShareCradle (4 スロット バッテリー充電器付き)	CRD-MC33-4SE4BC-01	○	○	×	○
4 スロット予備バッテリー充電器	SAC-MC33-4SCHG-01	×	○	×	×
20 スロット予備バッテリー充電器	SAC-MC33-20SCHG-01	×	○	×	×
USB 充電ケーブル	CBL-MC33-USBCHG-01	○	×	○	×
MC32N0 1 スロット クレードル (MC33XX クレードル アダプタ付き)	CRD3000-1001RR ADP-MC33-CRDCUP-01	○	○ <small>(予備バッテリース ロットに MC32N0 バッテ リのみを充電)</small>	○	×



注 『MC3300x Product Reference Guide』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに従っていることを確認してください。

1. メイン バッテリーを充電するには、充電アクセサリを適切な電源に接続します。
2. MC3300x をクレードルにセットするか、USB 充電ケーブルに接続します。MC3300x の電源がオンになり、充電が開始されます。充電中は、充電/通知 LED が黄色で点滅し、充電が完了すると緑色で点灯します。



注 適切に動作させるには、MC3300x が充電クレードルに挿入されているときに MC3300x ハンドストラップが取り付けられている場合は、ハンドストラップが充電接点に干渉しないようにしてください。

充電温度

バッテリーは、0 ~ 40°C (32 ~ 104°F) の温度で充電します。本デバイスまたはクレードルでは、常に安全で適切な方法で充電が行われます。高温時 (約 37°C 以上 (98°F 以上) など) には、バッテリーを適切な温度に保つため、短時間でバッテリーの充電を中止したり再開したりすることがあります。異常な温度のために充電が無効になった場合は、デバイスおよびクレードルの LED に表示されます。

予備バッテリーの充電

1. 予備バッテリー スロットに、予備バッテリーを挿入します。
2. バッテリーが正しく挿入されていることを確認します。

充電中であることを示す、予備バッテリー充電 LED が点滅します。充電インジケータについては、[表 10](#) を参照してください。

表 10 充電/通知 LED インジケータ

状態	意味
消灯	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーが充電されません。 • バッテリーが正しくクレードルに挿入されていないか、電源に接続されていません。 • クレードルに電源が供給されていません。
黄色の点滅	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーのホット スワップ中にアクティブな無線接続セッションが発生しました。
黄色の点灯	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーを充電中です。
緑色の点灯	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーの充電が完了しました。
赤色で速く点滅 1 秒間に 2 回点滅	<p>充電エラーです。次のような場合にこの状態になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 温度が低すぎるか高すぎる。 • 充電完了までの時間が長すぎる (通常は 8 時間)。
赤色で点灯	<ul style="list-style-type: none"> • 予備バッテリーが充電中です。バッテリーの寿命が近づいています。 • 充電が完了しました。バッテリーの寿命が近づいています。
青色で点滅	<ul style="list-style-type: none"> • アプリケーション通知を受信したことを示します。

1 スロット USB 充電クレードル

1 スロット USB 充電クレードルには、次のような機能があります。

- モバイル コンピュータおよびバッテリーの充電用に 9V の DC 電力を供給する。
- 予備バッテリーの充電用に 4.2V の DC 電力を供給する。
- モバイル コンピュータとホスト コンピュータやその他の USB デバイス (プリンタなど) の間のデータ通信用に USB ポートを提供する。
- モバイル コンピュータとホスト コンピュータの間で情報を同期する。カスタマイズされたソフトウェアやサードパーティ製のソフトウェアを使用すれば、モバイル コンピュータと会社のデータベースを同期することも可能です。

次のバッテリーと互換性があります (デバイスで充電)。

- MC3300x 7000mAh PowerPrecision+ 拡張容量バッテリー
- MC33XX 5200mAh PowerPrecision+ 大容量バッテリー
- MC33XX 2740mAh PowerPrecision+ 標準容量バッテリー (MC3300x-R/S および MC33XX-R/S のみ)

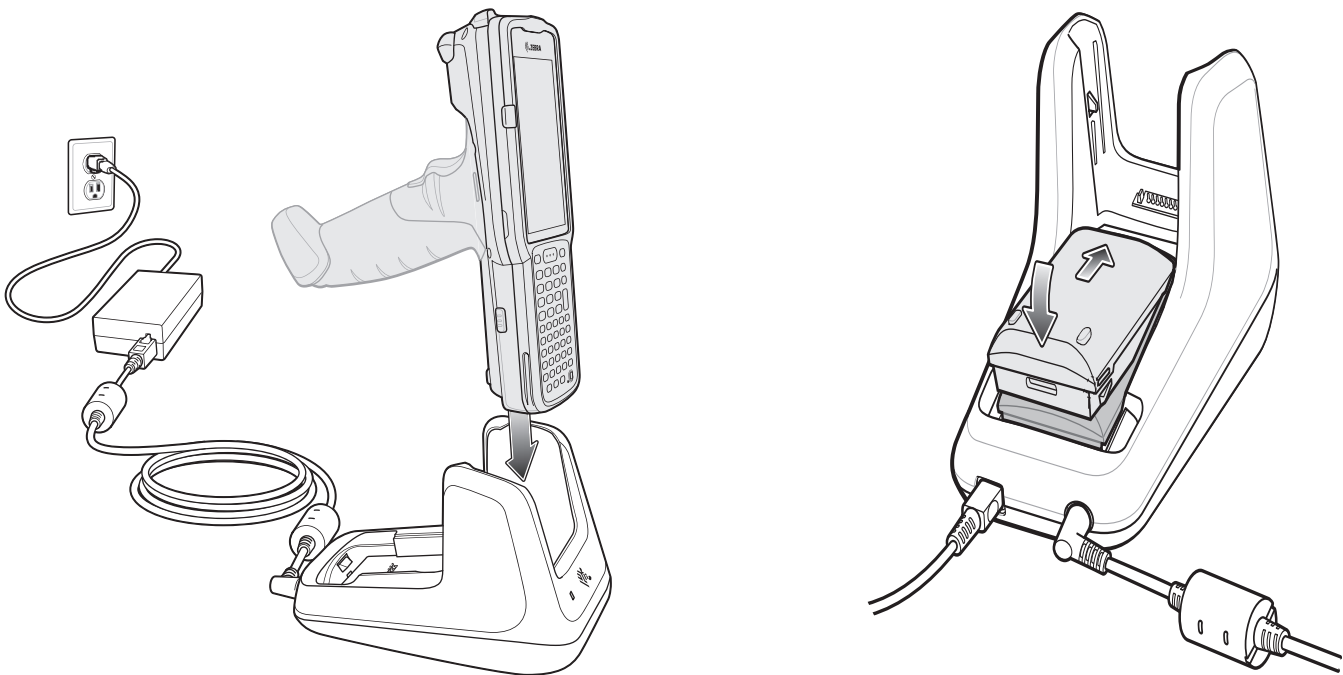
次のバッテリーと互換性があります (予備バッテリー スロットのみで充電)。

- MC3300x 7000mAh PowerPrecision+ 拡張容量バッテリー
- MC33XX 5200mAh PowerPrecision+ 大容量バッテリー
- MC33XX 2740mAh PowerPrecision+ 標準容量バッテリー
- MC32N0 5200mAh PowerPrecision 大容量バッテリー
- MC32N0 2740mAh PowerPrecision 標準容量バッテリー



注 適切に動作させるには、MC3300x が充電クレードルに挿入されているときに MC3300x ハンドストラップが取り付けられている場合は、ハンドストラップが充電接点に干渉しないようにしてください。

図 26 1 スロット USB 充電クレードル



5 スロット充電専用 ShareCradle

5 スロット充電専用 ShareCradle には、次のような機能があります。

- モバイル コンピュータの動作およびバッテリーの充電用に 9V の DC 電力を供給する。
- 最大 5 台のモバイル コンピュータを同時に充電する。

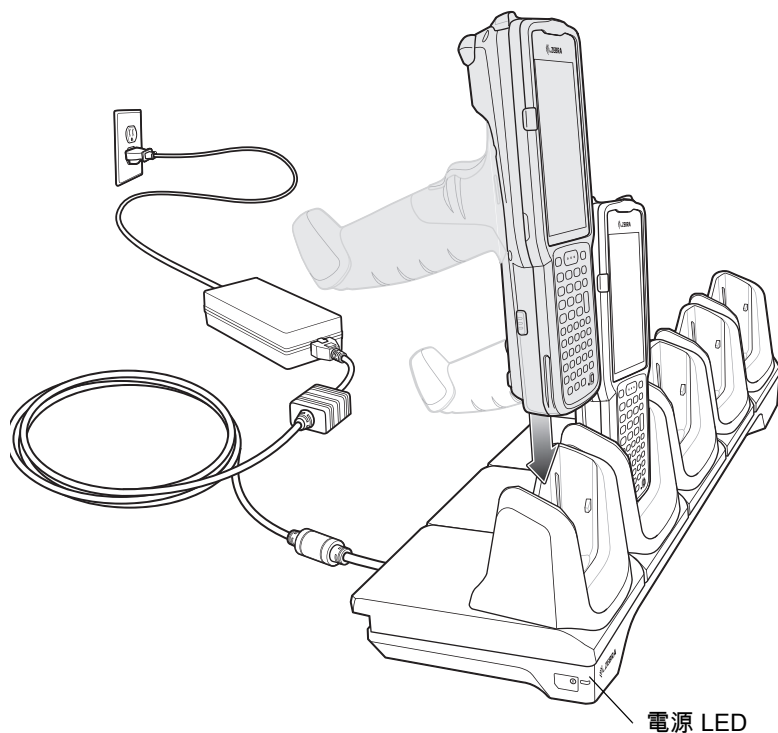
次のバッテリーと互換性があります (デバイスで充電)。

- MC3300x 7000mAh PowerPrecision+ 拡張容量バッテリー
- MC33XX 5200mAh PowerPrecision+ 大容量バッテリー
- MC33XX 2740mAh PowerPrecision+ 標準容量バッテリー (MC3300x-R/S および MC33XX-R/S のみ)



注 適切に動作させるには、MC3300x が充電クレードルに挿入されているときに MC3300x ハンドストラップが取り付けられている場合は、ハンドストラップが充電接点に干渉しないようにしてください。

図 27 5 スロット充電専用 ShareCradle



5 スロット Ethernet ShareCradle

5 スロット Ethernet ShareCradle には、次のような機能があります。

- モバイル コンピュータの動作およびバッテリーの充電用に 9V の DC 電力を供給する。
- 最大 5 台のモバイル コンピュータを同時に充電する。

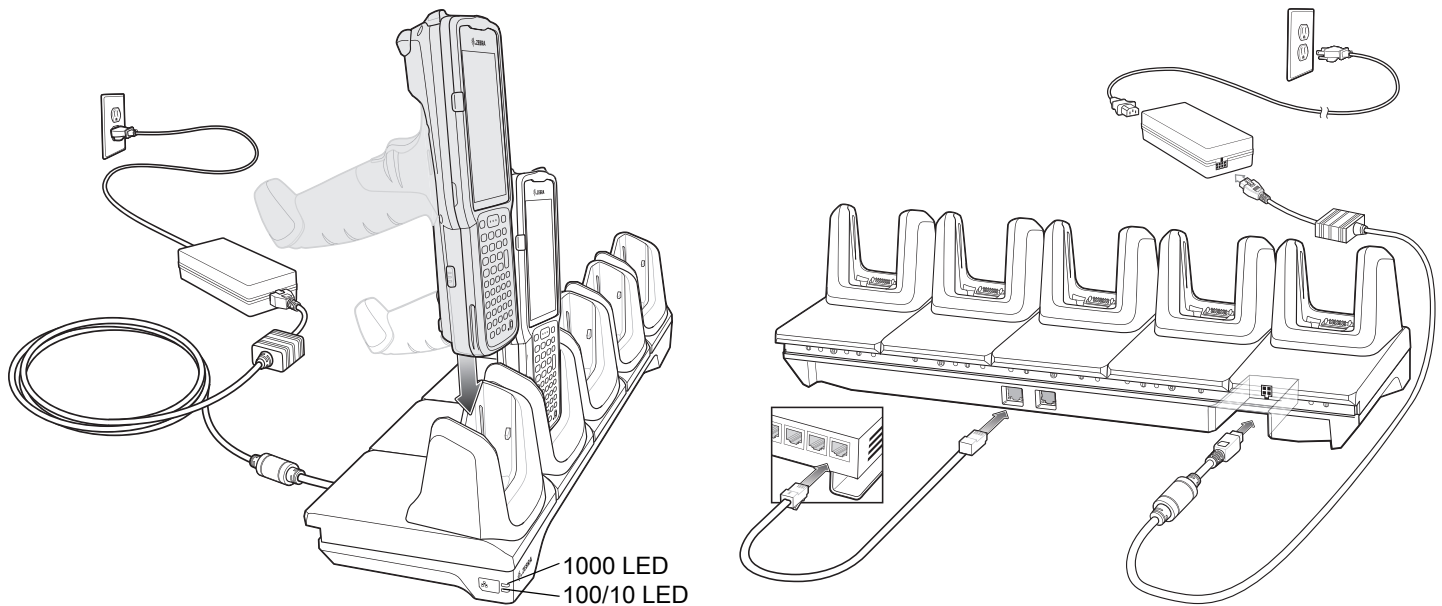
次のバッテリーと互換性があります (デバイスで充電)。

- MC3300x 7000mAh PowerPrecision+ 拡張容量バッテリー
- MC33XX 5200mAh PowerPrecision+ 大容量バッテリー
- MC33XX 2740mAh PowerPrecision+ 標準容量バッテリー (MC3300x-R/S および MC33XX-R/S のみ)



注 適切に動作させるには、MC3300x が充電クレードルに挿入されているときに MC3300x ハンドストラップが取り付けられている場合は、ハンドストラップが充電接点に干渉しないようにしてください。

図 28 5 スロット Ethernet ShareCradle



5 スロット ShareCradle (4 スロット バッテリー充電器付き)

5 スロット ShareCradle (4 スロット バッテリー充電器付き) には、次のような機能があります。

- モバイル コンピュータの動作およびバッテリーの充電用に 9V の DC 電力を供給する。
- 予備バッテリーの充電用に 4.2V の DC 電力を供給する。
- 最大 4 台のモバイル コンピュータと 4 台の予備バッテリーを同時に充電する。

次のバッテリーと互換性があります (デバイスで充電)。

- MC3300x 7000mAh PowerPrecision+ 拡張容量バッテリー
- MC33XX 5200mAh PowerPrecision+ 大容量バッテリー
- MC33XX 2740mAh PowerPrecision+ 標準容量バッテリー (MC3300x-R/S および MC33XX-R/S のみ)

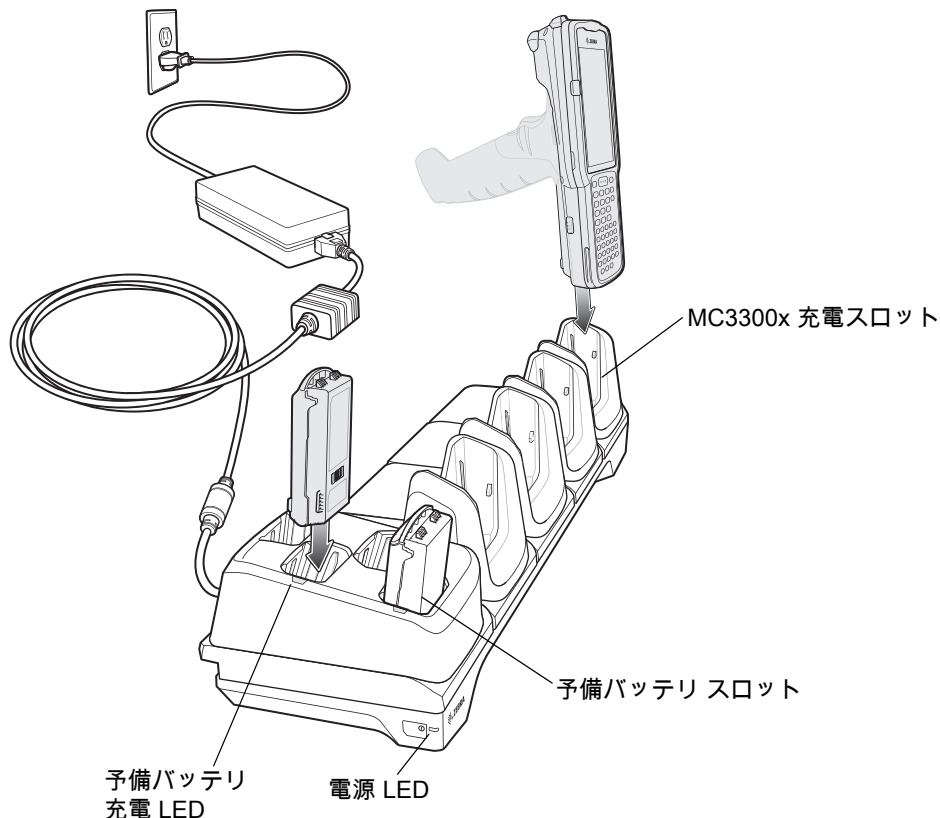
次のバッテリーと互換性があります (予備バッテリー スロットのみで充電)。

- MC3300x 7000mAh PowerPrecision+ 拡張容量バッテリー
- MC33XX 5200mAh PowerPrecision+ 大容量バッテリー
- MC33XX 2740mAh PowerPrecision+ 標準容量バッテリー
- MC32N0 5200mAh PowerPrecision 大容量バッテリー
- MC32N0 2740mAh PowerPrecision 標準容量バッテリー



注 適切に動作させるには、MC3300x が充電クレードルに挿入されているときに MC3300x ハンドストラップが取り付けられている場合は、ハンドストラップが充電接点に干渉しないようにしてください。

図 29 5 スロット ShareCradle (4 スロット バッテリー充電器付き)



5 スロット Ethernet ShareCradle (4 スロット バッテリー充電器付き)

5 スロット Ethernet ShareCradle (4 スロット バッテリー充電器付き) には、次のような機能があります。

- モバイル コンピュータの動作およびバッテリーの充電用に 9V の DC 電力を供給する。
- 予備バッテリーの充電用に 4.2V の DC 電力を供給する。
- 最大 4 台のモバイル コンピュータと 4 台の予備バッテリーを同時に充電する。

次のバッテリーと互換性があります (デバイスで充電)。

- MC3300x 7000mAh PowerPrecision+ 拡張容量バッテリー
- MC33XX 5200mAh PowerPrecision+ 大容量バッテリー
- MC33XX 2740mAh PowerPrecision+ 標準容量バッテリー (MC3300x-R/S および MC33XX-R/S のみ)

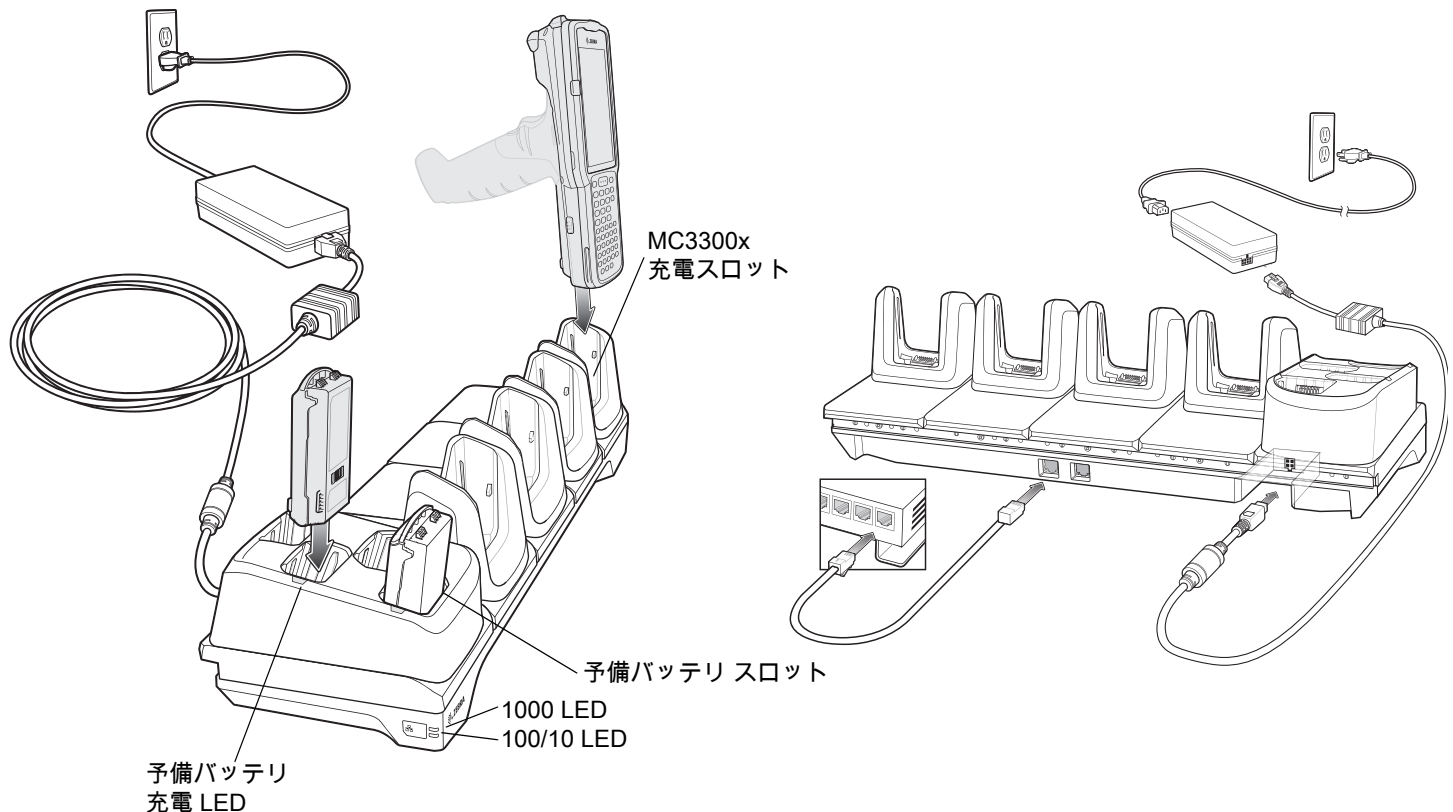
次のバッテリーと互換性があります (予備バッテリー スロットのみで充電)。

- MC3300x 7000mAh PowerPrecision+ 拡張容量バッテリー
- MC33XX 5200mAh PowerPrecision+ 大容量バッテリー
- MC33XX 2740mAh PowerPrecision+ 標準容量バッテリー
- MC32N0 5200mAh PowerPrecision 大容量バッテリー
- MC32N0 2740mAh PowerPrecision 標準容量バッテリー



注 適切に動作させるには、MC3300x が充電クレードルに挿入されているときに MC3300x ハンドストラップが取り付けられている場合は、ハンドストラップが充電接点に干渉しないようにしてください。

図 30 5 スロット Ethernet ShareCradle (4 スロット バッテリー充電器付き)



4 スロット 予備バッテリー充電器

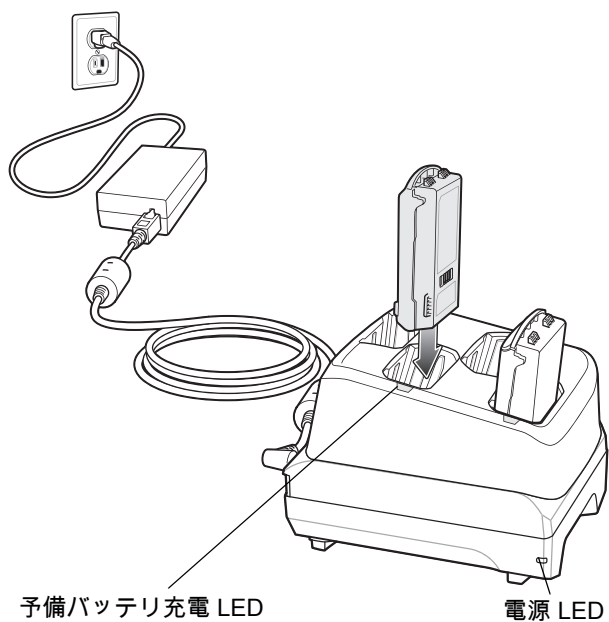
4 スロット 予備バッテリー充電器には、次のような機能があります。

- 最大 4 個の MC3300x の予備バッテリーを充電します。
- 予備バッテリーの充電用に 4.2V の DC 電力を供給する。

次のバッテリーと互換性があります (予備バッテリー スロットのみで充電)。

- MC3300x 7000mAh PowerPrecision+ 拡張容量バッテリー
- MC33XX 5200mAh PowerPrecision+ 大容量バッテリー
- MC33XX 2740mAh PowerPrecision+ 標準容量バッテリー
- MC32N0 5200mAh PowerPrecision 大容量バッテリー
- MC32N0 2740mAh PowerPrecision 標準容量バッテリー

図 31 4 スロット 予備バッテリー充電器



20 スロット予備バッテリー充電器

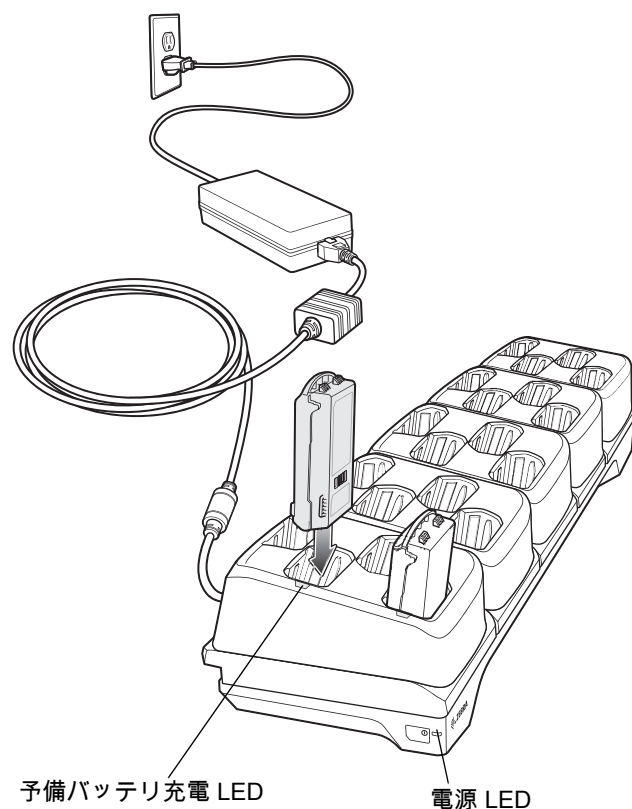
20 スロット予備バッテリー充電器には、次のような機能があります。

- 最大 20 個の MC3300x の予備バッテリーを充電する。
- 予備バッテリーの充電用に 4.2V の DC 電力を供給する。

次のバッテリーと互換性があります (予備バッテリー スロットのみで充電)。

- MC3300x 7000mAh PowerPrecision+ 拡張容量バッテリー
- MC33XX 5200mAh PowerPrecision+ 大容量バッテリー
- MC33XX 2740mAh PowerPrecision+ 標準容量バッテリー
- MC32N0 5200mAh PowerPrecision 大容量バッテリー
- MC32N0 2740mAh PowerPrecision 標準容量バッテリー

図 32 20 スロット予備バッテリー充電器



USB 充電ケーブル

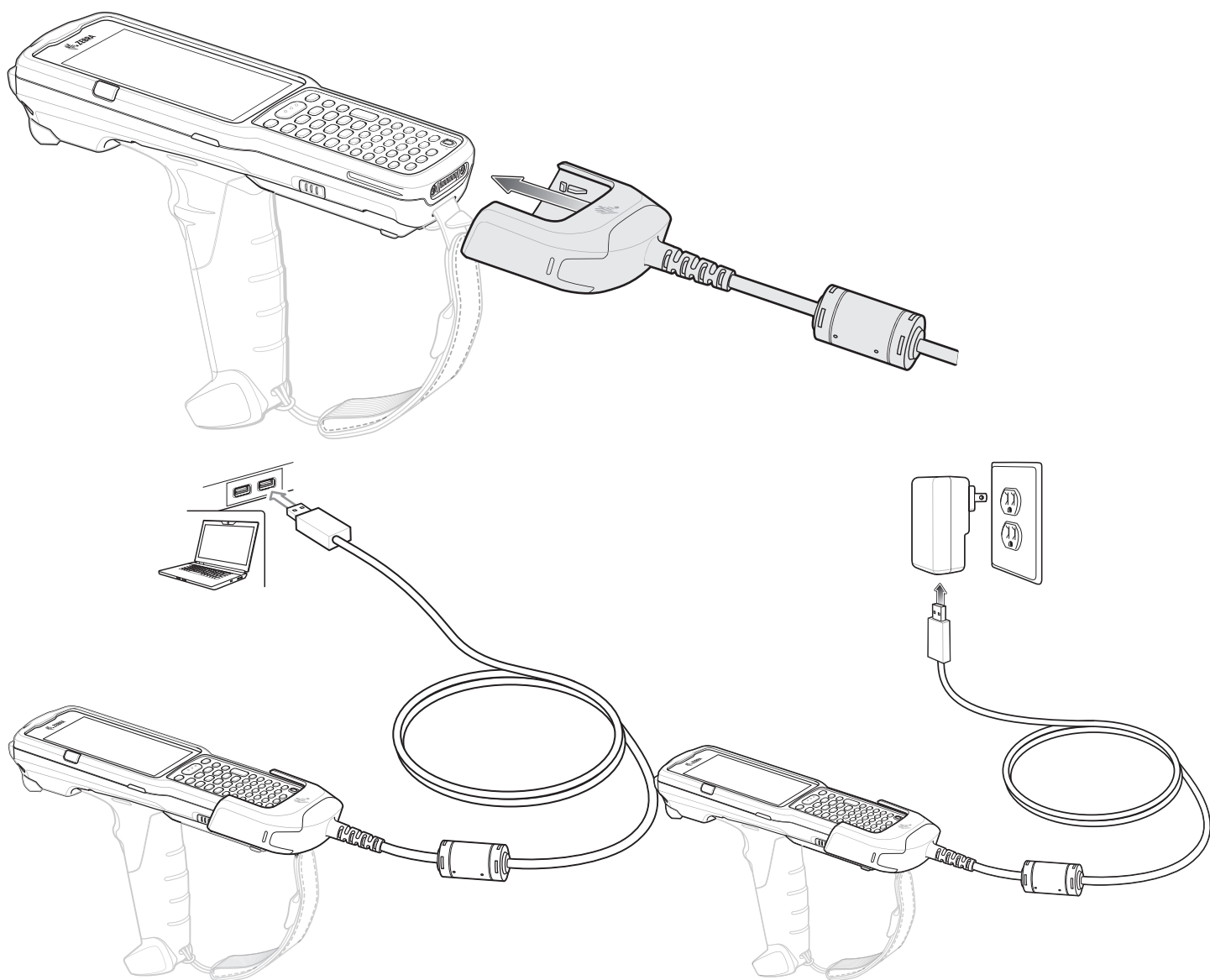
USB 充電ケーブルは、次のような機能があります。

- バッテリーの充電に必要な 5V の DC 電力を供給する。
- ホスト コンピュータと USB 経由でデバイスへの給電や通信を行う。
- 以下のバッテリーを使用するデバイスと互換性があります。
 - MC3300x 7000mAh PowerPrecision+ 拡張容量バッテリー
 - MC33XX 5200mAh PowerPrecision+ 大容量バッテリー
 - MC33XX 2740mAh PowerPrecision+ 標準容量バッテリー (MC3300x-R/S および MC33XX-R/S のみ)



注 適切に動作させるには、MC3300x が充電クレードルまたはケーブルに挿入されているときに MC3300x ハンドストラップが取り付けられている場合は、ハンドストラップが充電接点に干渉しないようにしてください。

図 33 USB 充電ケーブル



MC33XX 充電専用アダプタ

MC32N0 クレードルと MC33XX または MC3300x モバイル コンピュータとの下位互換性を保つために、MC33XX 充電専用アダプタを使用してください。MC33XX 充電専用アダプタは、従来の MC32N0 1 スロット クレードルおよび 4 スロット クレードルで充電専用 (通信なし) の MC33XX および MC3300x モバイル コンピュータと互換性があります。

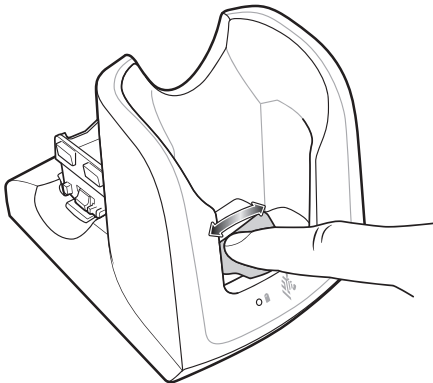
- MC33XX 充電専用アダプタは、MC32N0 1 スロット USB クレードル、MC32N0 4 スロット充電専用クレードル、および MC32N0 4 スロット Ethernet クレードルをサポートします。
- MC33XX 充電専用アダプタは充電のみをサポートします。MC32N0 クレードルと併用すると通信は行えません。
- MC32N0 1 スロット USB クレードルは、デバイスを充電するために 5.4V の DC 電力を供給します。
- MC32N0 1 スロット USB クレードル (MC33XX 充電専用アダプタ付き) は、MC33XX または MC3300x PowerPrecision+ バッテリまたは MC32N0 PowerPrecision バッテリを充電する MC33XX または MC3300x モバイル コンピュータと互換性がありますが、MC32N0 1 スロット USB クレードルの予備バッテリー スロットは、MC32N0 PowerPrecision バッテリのみと互換性があります。

MC33XX 充電専用アダプタの取り付け

MC33XX 充電専用アダプタを取り付けるには、次の手順に従います。

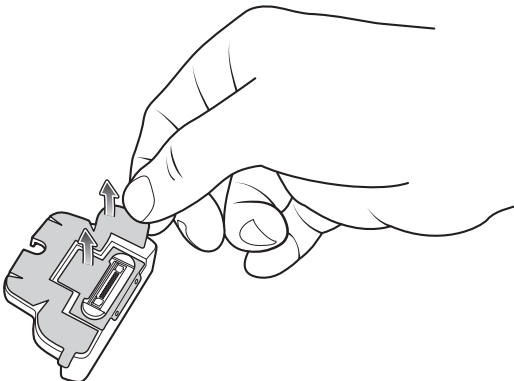
1. アルコール ウェット ティッシュを指で前後に動かして、MC32N0 クレードルと端子をクリーニングします。
クリーニングの詳細については、『MC33XX Mobile Computer User Guide』の「メンテナンスとトラブルシューティング」の章を参照してください。

図 34 MC32N0 クレードルのクリーニング



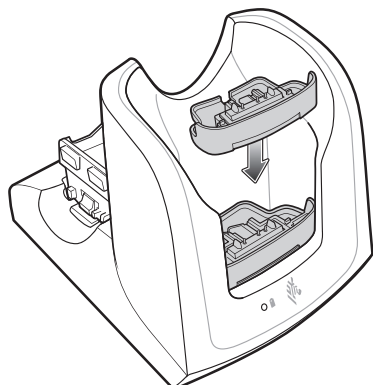
2. アダプタの背面から接着テープをはがして取り外します。

図 35 接着テープの取り外し



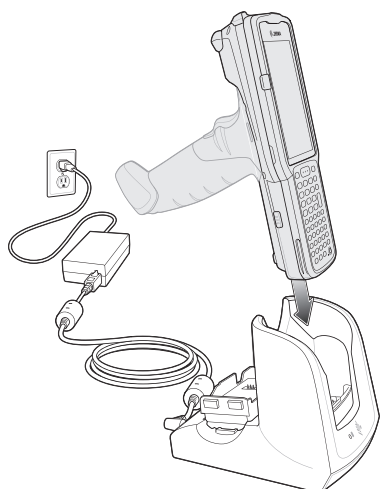
3. アダプタを MC32N0 クレードルに挿入し、クレードルの下部に装着します。

図 36 アダプタをクレードルへ挿入して装着する



4. MC33 XX または MC3300x モバイル コンピュータを MC32N0 クレードルに挿入します。

図 37 MC33XX または MC3300x を MC32N0 クレードルに挿入する



注 適切に動作させるには、MC3300x が充電クレードルに挿入されているときに MC3300x ハンドストラップが取り付けられている場合は、ハンドストラップが充電接点に干渉しないようにしてください。

スキャン

MC3300x では、以下の方法でデータを読み取れます。

- イメージャ:
 - SE4720 1D/2D
 - SE4770 1D/2D
 - SE4850-ER 1D/2D
- レーザー スキャナ:
 - SE965 1D

その他のスキャン オプションについては、『MC3300x Mobile Computer Product Reference Guide』を参照してください。

イメージャによるバーコード キャプチャ

バーコード データを読み取るには、次の手順に従います。

1. アプリケーションがデバイスで開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキスト カーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
2. デバイスの先端をバーコードの方に向けます。
3. スキャン ボタンまたはトリガを長押しします。

照準を合わせるための赤色のレーザー照準パターンがオンになります。

4. 照準パターンの十字の領域にバーコードが納まっていることを確認します。明るい照明下でもよく見えるようにドットの照準を使用しています。

スキャン LED が緑色で点灯してピープ音が鳴り (デフォルト設定の場合)、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。デバイスがピック リスト モードの場合、十字の照準の中心がバーコードに当たるまでデバイスはバーコードを読み取りません。

図 38 照準パターン: 基準範囲および基準範囲外

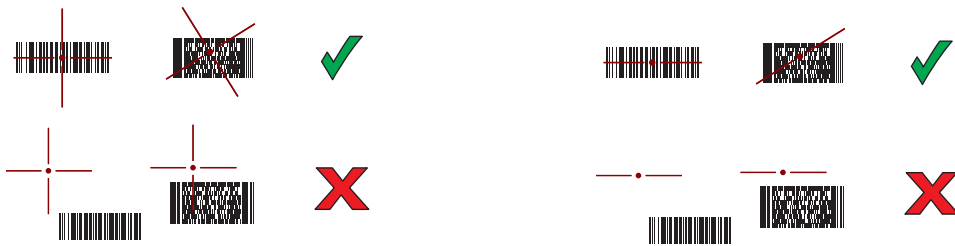


図 39 ピック リスト モード (複数のバーコードが照準パターン内にある場合): 基準範囲および基準範囲外



5. スキャン ボタンまたはトリガを離します。
6. バーコード コンテンツ データが、テキスト フィールドに表示されます。

レーザー スキャナによるバーコード キャプチャ

バーコード データを読み取るには、次の手順に従います。

1. アプリケーションがデバイスで開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキスト カーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
2. デバイスの先端をバーコードの方に向けます。
3. スキャナ ウィンドウをバーコードに向けます。
4. スキャン ボタンを長押しします。

照準を合わせるための赤色のスキャン ラインがオンになります。スキャン ラインがバーコードのすべてのバーとスペースを横切るようにします。

スキャン LED が緑色で点灯してピープ音が鳴り (デフォルト設定の場合)、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。

図 40 レーザー スキャナの照準パターン



5. スキャン ボタンを離します。
6. 読み取られたデータがテキスト フィールドに表示されます。

人間工学に関する考慮事項

作業時は適度な休憩を取ることを推奨します。

スキャン位置が低い場合の最適姿勢

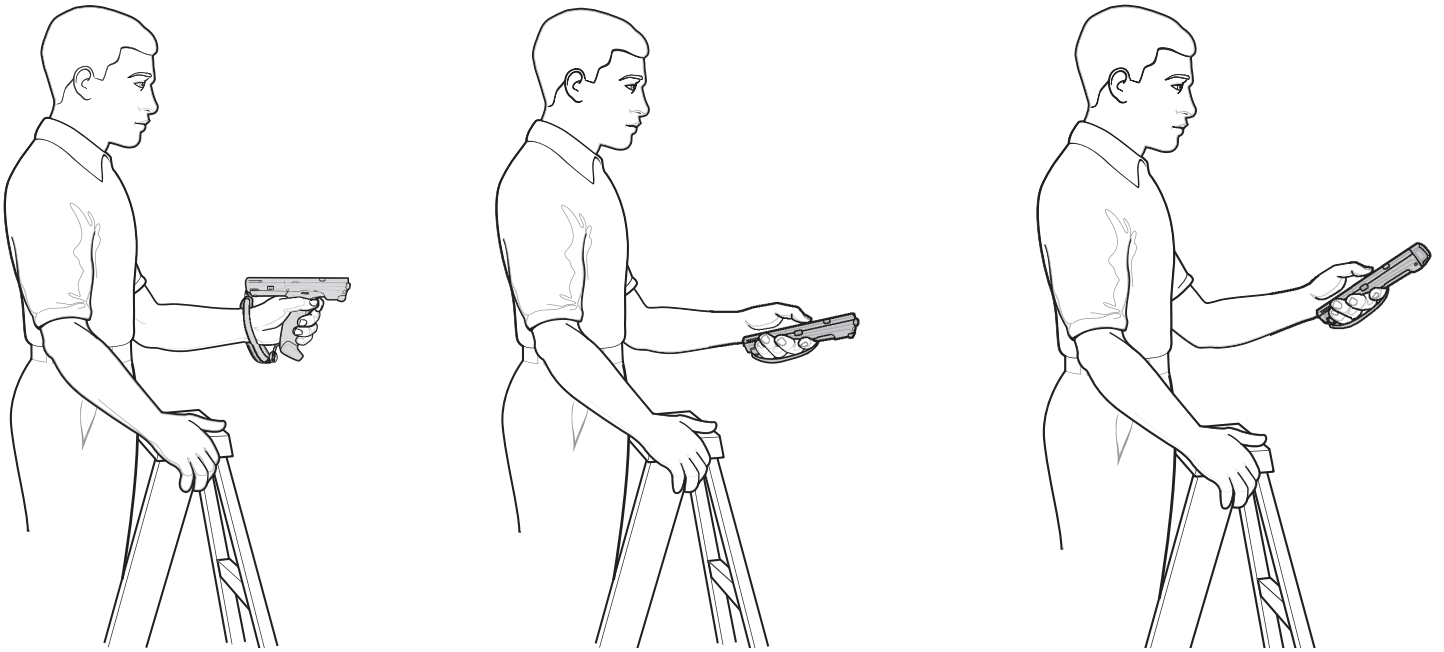
図 41 スキャン位置が低い場合



左右の膝を交互に使用してください。

スキャン位置が高い場合の最適姿勢

図 42 スキャン位置が高い場合



左右の手を交互に使用してください。

腰を曲げて作業しないでください。

図 43 腰を曲げて作業しないでください。



無理に腕を曲げないでください。

図 44 無理に腕を曲げないでください。



手首を極端に曲げないでください。

図 45 手首を極端に曲げないでください。

